

### 固定資産の評価替え

○ 首都圏の地価の上昇のあおりを受けて、町内の土地価格が上昇している。3年に一度の固定資産の評価替えにあたって、納税者の負担増が懸念される。評価方法は適正か。また、年一回義務付けられている固定資産の実態調査はどのように行っているか。

○ 評価替えにあたっては、昨年9月、県が定めた基準地価格に基づき、法律で定める手順により算出した。この結果、町内の平均上昇率は26パーセントとなった。

○ 納税者への配慮としては負担調整制度があり、これまで3年間であった期間を2年延長し、5



固定資産の基準地が設けられている駅前通り

年間にわたっての段階的な負担をお願いすることとしている。

○ 年一回の実地調査については、法務局から送られる資料のほか現地調査を行っている。

### 物品の購入先

○ 各種事業を行うため、さまざまな物品を調達しているが、購入額はいくらか。また、地場産業を育成するため、その全てを町内業者に発注できないか。

○ 平成2年度予算によって、これまでに購入した物品（消耗品や各種材料、自動車、事務機器など）は一億七千万円である。

○ このうち町内から購入したものは六千三百万円で全体の40パーセント。一方、町外からの購入は一億七百万円で、主なものとしては、学校給食用の賄材料や教育材料、消防車など、特殊なものに限られている。これらを除けば町内からの購入率は69パーセントになる。

○ 今後も、予算の適正かつ効率的な執行に配慮しながら、地場産業の育成を図りたい。

### 外国人の登録と就労状況

○ 町内に住んでいる外国人と、違法在留者の就労状況は把握しているか。

○ 外国人登録によれば、町内に72人の外国人が住んでいる。滞在目的（理由）としては研修、就学、日本人の妻などさまざまである。なお、違法在留者の就労状況については、監督権が及ばないため、調査したことはない。

### 湾岸戦争への資金援助

○ 横芝町は非核平和を宣言しているが、今回の湾岸戦争に対する①資金援助と②自衛隊派遣をどう考えるか。

○ ①国政レベル・国際間の問題であり、一町長が答弁することではないが、個人的な意見として、多くの石油を中東地域から輸入しているわが国、そして、国際社会における日本の位置付けから考えると、資金援助はやむを得ないと思う。②自衛隊の派遣には反対である。



▲町外から購入しているもののトップは学校給食用の賄材料

昨年栗山地区に配属された▼消防車（約700万円）

